

皆さんの安全は私たちが守ります

地域を守る 小金井市消防団 消防団員改選特集

防災対策のさらなる充実をめざし 新体制でスタート

火災、地震、風水害などの災害は、いつ発生するか分かりません。こうした災害に対しての警戒はもとより、発生した場合には迅速に対応し、市民の生命と財産を守るのが消防団の大きな役割です。消防団は、本部と5つの分団から成り、条例により定数83人で構成されています。消防団員は2年ごとに改選されますが、このたびは各地域の推薦委員の皆さんのご尽力により、新体制の消防団がスタートしました。

小金井市消防団は、これからも地域にもっとも身近な防災機関として、小金井消防署と連携を取りながら、多種多様な災害から地域の安全を守るため、技術や知識の習得に努め、消防団活動を推進してまいります。

生業をもつ傍ら、地域社会における消防防災の主要な役割を担う消防団に対して、皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

問合先 地域安全課防災消防係 ☎042-387-9807



小金井市消防団長 木下 隆一

このたびの消防団員の改選により、図らずも小金井市の消防団長の職に就任いたしました木下でございます。就任に当たり、「一言、あいさつ」を申し上げます。

去る4月1日に、私自身、渡邊前団長から引き継ぎ消防団長を拝命いたしました。団員、また団員を支えているご家族および市民に対し、その責任の重さに身の引き締まる思いをしております。もともとより微力ではありますが、諸先輩方の案がけられた本市消防団の伝統を守り、全力を傾注して地域防災の任にあたる所存でありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

消防団の原点に立ち返り

消防団は地域に根ざし、いつ発生するか分からない災害に対し、昼夜を問わず迅速に対処しております。

消防団が十分な活動をするためには、消防から地域住民との相互理解を深め、連帯意識を持ち、地域ぐるみの防災体制を構築していかなければなりません。

これからも自分の地域は自分で守るという消防団の原点に立ち返り、小金井消防署との連携を深め、平素から訓練を積み重ねながら、専門知識の取得や消防技術の向上に努め、全団員一丸となって市民の安全・安心のために地域防災のリーダーとして、邁進していく所存です。

どうか、市民の皆様におかれましては、新体制の消防団に對しまして、より一層のご理解、ご協力をお願ひ申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

消防団と、消防団を支える全ての人々に感謝します



小金井市長 西岡 真一郎

「自分たちのまちは自分たちで守る」。この言葉を胸に、消防団員は生業の傍ら、消防・防災に関する知識や技術を習得し、防火活動・警戒監視などに従事され、地域住民の生命や財産を守るため日夜を分かたずご尽力いただいております。

この献身的な活動に心から感謝申し上げますとともに、活動を支えているご家族の皆様、地域の方々から感謝をいたしますとともに、ご家族の皆様のご理解とご協力を心から御礼申し上げます。

このたびの消防団員の改選にあたり、各地域の推薦委員の方々に「ご尽力いただき、木下団長を筆頭とした小金井市消防団の新体制が始動したことは、誠に心強い限りです。消防団員は私たち市民の誇りであり、その存在が私たちの大きな励みとなっていると感じております。

過去の火災の教訓から、私たちは、自助と共助、支えあいと利他の精神がいかに大切であるかを学んできました。地域のことを長く知る消防団員は、地域に密着した防災活動を行っています。市民の皆様には、消防団の活動にご理解・ご協力を願ひいたします。

消防団の新団結にあたって

小金井市議会議長 篠原 ひろし

平成28年の改選により、新たに小金井市消防団が結成されました。

団員の推薦に当たっては、町会、後援会、推薦委員会など、多くの関係者の皆様にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、3月末で勇退された渡邊団長をはじめ、多くの先輩消防団員の皆様には、長年のご苦労に心から感謝をいたしますとともに、ご家族の皆様のご理解とご協力を心から御礼申し上げます。

このたび、継続して団員として活動される方々、新たに団員となられた方々には、11万市民を代表して心から感謝申し上げます。

熊本地震を例にするまでもなく、いつ発生するか分からない災害に備えて、地域の防災リーダーとして、崇高な任務を果たされることを期待いたしております。市民の皆様におかれましては、小金井市消防団に對し、今後とも一層のご理解、ご協力を願ひいたします。

本団

副団長 清水 康信

副団長 田村 裕一

本部分団長 折笠 一寿

本部分団長 土屋 直己

第五分団

副分団長 佐原 涼太

副分団長 橋田 数彦

副分団長 吹春 保隆

分団長 本橋 和彦

班長 鳴海 大介

班長 田中 稔

班長 林 健博

担当区域 桜町、貫井北町、貫井南町3丁目（1・2番を除く）

第二分団

副分団長 船田 知孝

副分団長 佐藤 浩一

副分団長 鴨下 繁明

分団長 鴨下 寛樹

班長 高橋 宏和

班長 高橋 大亮

班長 佐野 哲也

担当区域 関野町、梶野町、緑町

第一分団

副分団長 川又 健次

副分団長 田中 満

副分団長 西川 享助

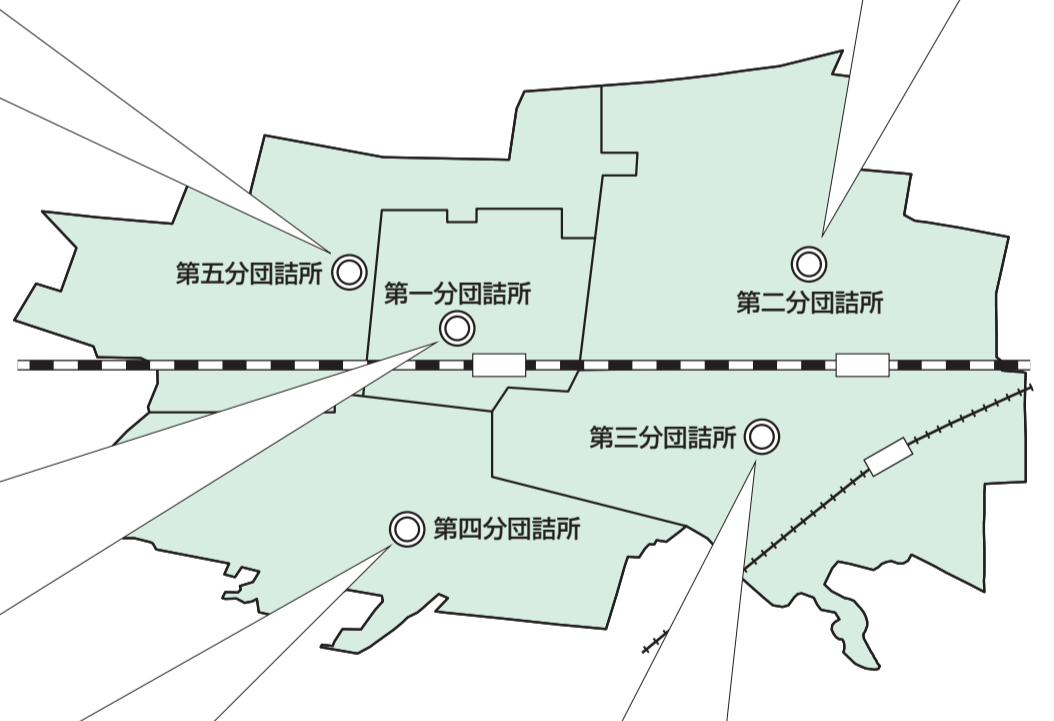
分団長 高野 正英

班長 西川 享助

班長 福平 恵一

班長 北村 秀樹

担当区域 本町1丁目8～10・15～20番、本町2～6丁目



第四分団

副分団長 長澤 健

副分団長 横山 秀弘

副分団長 益田 健

分団長 信山 勝之助

班長 大澤 寿男

班長 鈴木 昭信

班長 鴨下 勇司

担当区域 前原町、貫井南町1・2・4・5丁目、3丁目1・2番

第三分団

副分団長 渡邊 昌孝

副分団長 大久保 敦

副分団長 高橋 雅人

分団長 須藤 善雄

班長 村越 正伍

班長 井上 清久

班長 若尾 一樹

担当区域 東町、中町、本町1丁目1～7・11～14番

主な年間行事

とき	行事	とき	行事
1月	出初式	9月下旬	北多摩地区消防大会
2月2日	日曜日	10月上旬	総合防災訓練
3月上旬	春の火災予防運動巡行広報	11月中旬	秋の火災予防運動巡行広報
4月中旬	規律訓練	下旬	通常点検訓練・団員研修会
5月中旬	水防訓練	12月28～30日	歳末特別警戒
6月上旬(隔年)	消防ポンプ車操法審査会	年1回	上級救命講習

消防サイレンの音にご理解を

市内で火災が発生した場合、市民への警報を目的に、サイレンを鳴らしています。

また、毎月1日（1月を除く。土曜・日曜・祝日の場合は、翌日以降の最初の平日）の午前8時には、広く火災予防を呼びかけるため、サイレンを鳴らしています。皆さんのご理解をお願いします。

消防団員募集

小金井市消防団では、第一分団、第二分団、第四分団の消防団員を募集しています。

入団を希望する方は、消防団事務局（地域安全課防災消防係）までご連絡ください。

資格等要件 ▷市内に居住、勤務または在学している方 ▷入団日時時点で年齢18歳以上の方

問合先 地域安全課防災消防係 ☎042-387-9807

防災コーナー

◆「自助」、「共助」、「公助」の連携

大規模災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」、「共助」、「公助」の連携が大切です。

消防団は、地域と深くつながり、火災時の実働部隊という役割だけでなく、消防署および市（公助）と自主防災組織および自治会（共助）と地域住民（自助）との間の「つなぎ」役、住民に対する「情報発信者」としての役割も担っています。

◆災害に備える

災害が発生した際、その災害の規模が大きければ大きいほど、「公助」にあたる公的機関が全ての支援要請に応えることは難しくなります。

そのようなき、自分や家族の安全は自ら守る「自助」が重要となります。食料や飲料水、生活に必要な物資は各家庭でも備蓄しておきましょう。また、家族が離れ離れになったときの連絡方法や集合場所を事前に決めておきましょう。

そして、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」のために、実際に起こりそうな災害や地震を想定して、避難訓練や消火訓練などの防災訓練を地域で実施しましょう。